楽しく歴史を学びましょう　～米山正儀の歴史研究会～

1．歴史研究会のご紹介

研究会は東洋史と西洋史の2つコースがあります。

・東洋史コース

東洋・中国の歴史を通して民族の特色や思想、そして各時代の出来事・事件の内容を現代の視点で比較検討しながら、人間社会の本音を探っていきます。

・西洋史コース

西洋の発展はどのように推移してきたのか。西洋社会に発生した出来事・事件を。当時の事情と現代の視点とを交錯させて検討します。

2年間を各コースとも月1回24回で一巡します。4月からは東洋史は宋時代から。西洋史は絶対主義の時代から始まります。

2．講師プロフィール

昭和7年（1932年）生まれ。早大卒、株式会社コーセーに勤務し、宣伝部長、教育部長、広報部長を歴任。定年後は現代経営技術研究所に所属し、コンサルト業務・研修活動を担当、またセカンドライフプランニング研修を各地で実施。

歴史研究の幅を拡げるために「比較文化論」の見地で各地の探訪、タウンウオッチング。

歴史資料の収集、趣味で演ずる講談・能狂言・アルゼンチンタンゴまた囲碁･カラオケに至るまで。人生の方針は

「空白の日を作らず充実する事」です。

3．講師からのメッセージ

歴史は面白い。大人の歴史は、解釈が多面的なのです。歴史的事件の背景にある人間の業、その動機となる色や欲そして価値観の相違にまで踏み込めば、歴史はまさに人生の社会研究です。

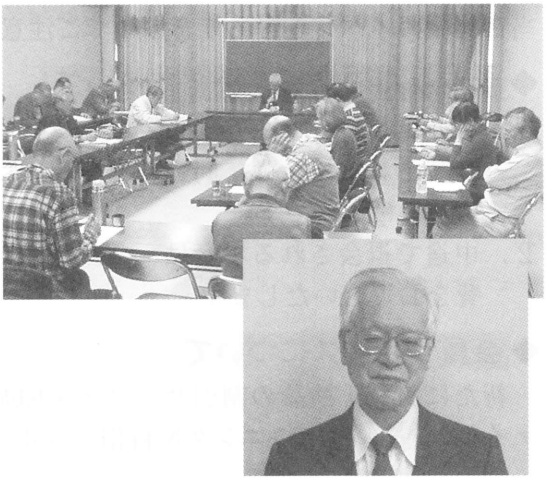
各時代の社会変動の解釈も、歴史観によって異なりますから、珍説・奇説にまで広がる時もあるでしょう。

さらに「比較文化論」の見地で検討すれば、古代・中世・現代の生き方の違い、また東洋と西洋の感覚の相違、そして日本人の特性と特徴が浮かび上がってきます。個人の人生観や社会規範、宗教性の変転にまで関係してきます。

その歴史的由来や原因、きっかけまで探求すれば、歴史は一層の面白さと意義深さが増してきます。歴史には、定説や流行の説はありますが、正解の無いのは当然のことです。だから教科書の記述が何年かすると変化するのです。

歴史現象はプラスイメージで見るか、マイナスイメージで見るかで、その意味まで変わります。会場での話や小配布資料が参加者の皆様のお役に立てば幸いです。

4．歴史研究会風景



5．会場と開催日　（P52をご参照）

会場　JASS東京イベント会場

P96の地図参照

（4月より台東区民会館改築の為明大前で開催）

日時　東洋史　第1火曜日15時～17時30分

西洋史　第3火曜日15時～17時30分

会費　各コースとも3ヶ月3,600円

世話人　村上　正